

3学期始業式「式辞」

副校長 堀江 嘉明

行永分校の皆さん、明けましておめでとうございます。

いよいよ2023（令和5）年が始まりました。皆さんはそれぞれ楽しく思い出深いお正月を過ごしてきたと思います。

さて、日本列島の各地、東北地方や北海道地方などでは大雪に見舞われ、道路が大雪でふさがれるなどの交通じゅう滞がありました。しかし、京都府北部地域は積雪が殆どなく、1年前とは異なり穏やかな気候の下でのお正月を過ごすことができましたね。

さて、カレンダー（暦）の上では新しい年になりましたが、学校では「2022（令和4）年度」が続き、1年の最後の「まとめ（ふりかえり）」の時期である3学期を本日迎えました。

この3学期は1学期や2学期と比べて、登校日数が最も短い「学期」になります。しかし、この3学期はこの1年間の「まとめ（ふりかえり）」だけではなく、次の2023（令和5）年度の準備をしっかりとするというとても大切な時期ともなります。

皆さんは4月から1つずつ学年が上がります。小学部6年生、中学部3年生の人は3月に卒業証書授与式を迎え、小学部、中学部をそれぞれ卒業し、さらに1つ上のステージに上がります。また、その他の皆さんも学年を1つずつ上がり、身体も心も大きく成長して、今までとは違う「景色」を見ることになります。

そのような考えから「3学期」は次年度の「0学期」であるともいわれます。皆さんも、「まとめ（ふりかえり）」に加えて、さらに、「0学期」の「準備（心づもり）」をするなど、充実した「学期」にしてください。